



冬の訪れを感じます ～2学期もあと1か月～

来週から12月。「師走」です。ようやく冬の訪れを感じるようになりました。先日も「葉っぱに氷がついっとた！（霜のこと?）」と、登校してきた子どもが知らせてくれました。

今月も、たくさんの行事や研究授業などが行われ、子どもたちが活躍する場面が見られました。11月8日には、今治市の小中学校音楽会が行われました。5・6年生が参加し、合唱と器楽合奏を発表しました。人数の多い学校にも引けを取らず、美しいハーモニーを響かせました。何より音楽を楽しんでいる様子を感じられました。17日の日曜参観日には、多数の保護者・ご家族の皆さんに来校していただきました。シェイクアウト訓練や引き渡し訓練でもご協力いただき、ありがとうございました。14日の防災朝会と併せて、児童、教職員の意識の向上や、体制



の確認をすることができました。2学期も残り1か月足らずとなりました。インフルエンザなども多くなる時期ですが、健康管理に気を付け、充実した学期末を迎えて欲しいと思います。



今治市音楽会



日曜参観日



研究授業「正しく手洗いしよう」

変わらないもの

今年のNHK大河ドラマは、「源氏物語」の作者、紫式部が主人公です。「源氏物語」全体は読んでことはありませんが、『いづれの御時にか、女御・更衣あまた候ひ給ひける中に・・・』という冒頭部分だけは今も覚えています。教科書に出てくる古典は暗記せよという、中学3年生の時の国語担当の先生のご指導のお陰です。当時、教科書には「源氏物語」の他に、「枕草子」「平家物語」「奥の細道」など歴史的にも重要な作品が載っていました。授業で指名され、暗唱できない場合はペナルティもありました。最初は「覚えていません」と答え（ペナルティを受け）、やり過ごしていましたが、次の参観日が国語だということを案内プリントで知りました。これはまずいと思い、それから1週間、毎晩紙に書き写したり、暇があればぶつぶつとつぶやいたりして、何とか覚え、参観日を切り抜けることができました。それが40数年たっても頭に残っています。何より暗記の仕方が身に付いたように思います。子どもたちが学ぶ内容は、時代の変化に伴って少しずつ変わります。学び方も変わります。しかし、繰り返し読む、書く、覚えるなど、基本的な学び方には、いつの時代になっても変わらない部分があると思います。間もなく始まる家庭学習チャレンジ週間。「覚え方」など、学び方を身に付けることにチャレンジするのも一つの取り組み方かな、と考えます。

